

平成16年(2004年)8月1日発行

盛大に学園創立97周年記念式典開催

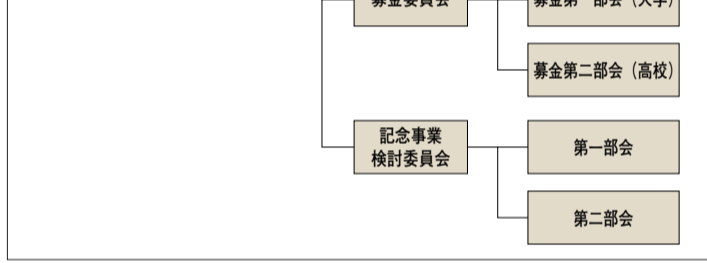
100周年にむけてキックオフ



●100周年記念事業に対する決意表明を行う学長と実行委員会総メンバー

平成16年6月29日(火)に本学体育館にて学園創立97周年記念式典が開催され、本学園教職員ならびに来賓多数が列席した。冒頭大川陽康理事長より、関係者各位への謝辞とともに次のような挨拶があった。

学校法人日本工業大学は、開校したことから始まる。明治40年に工業教育のさき生きた工業教育によって工業技術者を育成することを



■100周年記念事業実行委員会組織図

昭和42年には、全国工業高等学校長協会などの熱烈な支持を得て、日本工業大学が誕生、現在に至っている。また、平成17年4月から

「感性と知性」をテーマに 有馬朗人氏・野依良治氏と座談会 元文部大臣兼科学技術庁長官 ノーベル化学賞受賞者

100周年記念事業のキックオフ、前途を祝して乾杯 式典終了後、3年後に迎える本学園創立100周年の記念事業実行委員会の委員が紹介され、柳澤章委員長による100周年に向けた決意宣言が行われた。

学園創立百周年を記念する

専門職大学院の概要(文科省認可申請中)

本学では、学園創立百周年記念事業の一環として2005年度開設予定で、専門職大学院設置を検討していたが、6月末に文科省に認可申請書を提出した。

開設を目指す専門職大学院には、技術経営(MOTII Management of Technology)を教える「技術経営研究科」が設置される。

主な対象は、社会人であり、入学資格のモデル(原則)は、工科系大学を卒業し、5年以上の実務経験を有する27歳以上の人を想定している。本学卒業生の生涯

技術経営の高度職業人育成を目指す

学習の場として活用してほしいという意図もある(詳細は、問合せのこと)。社会人が学びやすいように、授業は土曜日の終日とウィークターの夜間に集中し、春休み・夏休みに集中講義の時間をもつけるなどの配慮がなされている。

千代田区神田神保町に新設の神田キャンパスは、地下鉄神保町の駅から近く、周辺には書店も多いなど、学ぶには良い環境だ。神田は明治44年以来(学園の創立は明治40年)、本学園の歴史に縁の深い地でもあり、

シメント能力を鍛えていく

本学卒業生も積極的に受け入れていく方針だ。「プロジェクトマネジメント」は様々な研究機関や企業の管理職を主な対象とする。近年、企業の新製品開発や、研究機関の研究の進め方がプロジェクト方式になっており、プロジェクトマネジメント(PM)能力を持った人材が求められる。こうしたニーズに対応し、経済産業省が設立した「PM資格認定センター」等とも連携し、PM資格取得を目指す教育も行っていく構えだ。

「技術起業戦略コース」では、起業に関する知識を体系的、実践的に学ぶ。こ

本ものに触れ、知識を具現化

大川先生、有馬先生や野依先生から貴重なご意見を伺っています。大川 有馬先生から「本ものが一番大切なんだ」ということを以前からお伺いし、すばらしい話だと思っております。また、今日、野依先生からは「化学は美しい」というお話を伺いました。世界が広がります。

私どもは実学を技術教育の基本と考えて教育研究に携わっております。今のお話を伺いますと、もっと希望が広がらなければいけないという気がします。私どもは、私どもの大学が、今から37年前ですが、我々の学



●熱心に語り合う野依氏(左)と有馬氏(右)

野依 「本もの」だということが本場に大事だろうと

野依 やはり先人がつくった知識とか、技術も大事な

NEW環境展2004に3研究室が出展 デモンストレーションに人気



5月25日から28日「NEW環境展」が東京ビッグサイトで開催され、本学は昨年に引き続き環境をアピールするパネル展示と3研究室から出展。出展は、佐藤茂夫研究室の「バイオマス利用による地域循環システムの構築」、丹澤祥晃研究室の「ハイブリッド風力発電装置」、菅原和士研究室の「太陽電池発電システム」。いずれも実験装置等によるデモンストレーションが、好評だった。

なお、本環境展への出展は536社ならびに26大学・産学連携。来場者は14万人以上に達した。

本年1月に始まった「低年次生教育充実のための予算」学内公募は、建築学科の提案「建築デジタルデザイン」による実践的なデザイン教育が採択された。タイトルは長いが、簡単に言えば「CAD教育の充実」である。

近年、建築設計の世界から製図板はほとんど姿を消し、コンピュータによる作図(CAD)や空間表現が一般化している。建築学科の卒業設計でも、98%の学生がCADで図面を描き、卒業論文発表会では、全員がコンピュータ画像を用いている。



さらに、コンピュータは、作図やプレゼンテーションの道具を越え、構想を練り、シミュレーションができる思考の道具へと成長した。

コンピュータを自由に使いこなせる学生を育てること、建築学科にとって夢であると同時に、果たさなければならぬ責務である。

建築学科の提案は、教育プログラムと教育環境整備の2本の柱からなる。

教育プログラムでは、1年次から一貫してコンピュータを使って考え設計する「建築デジタルデザイン」のクラスを設ける。ここでは、1年次からコンピュータに触れることにより、視覚イメージを論理に結びつける設計能力が育つ。この考え方は、ものに触れ、その興味を起点に理論を学ぶ、「専門から基礎へ」「具象から抽象へ」と呼ばれる本学教育の根幹である。また、

設計ばかりでなく構造や環境の教員も協力し、総合的な設計能力を備えた学生を育てる。

1年次からコンピュータに触れることにより、視覚イメージを論理に結びつける設計能力が育つ。この考え方は、ものに触れ、その興味を起点に理論を学ぶ、「専門から基礎へ」「具象から抽象へ」と呼ばれる本学教育の根幹である。また、

低年次生教育充実のための予算に 「建築デジタルデザイン」採択

建築学科主任 波多野 純

「世界の建築」と直結でき、魅力的な建築の世界が身近になる。

教育環境整備では、建築学科棟4階を改修し、デジタル教育環境を整備する。デジタルデザイン室(写真①)には、1クラス分のコンピュータを用意し、設計図の時間ももちろん、それ以外の時間も学生が自由に設計や論文作成に取り組みできるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。このような教育環境の整備は、建築学科の夢であった。入試面接において、「CADを勉強したい」と希望する学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。このような教育環境の整備は、建築学科の夢であった。入試面接において、「CADを勉強したい」と希望する学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

写真の上から、日本工業大学ブース、下右・丹澤祥晃研究室の展示とデモンストレーション、下左・佐藤茂夫研究室の展示風景

情報化時代の課題

講演はまず「もはやパソコンは主流ではない」という言葉からはじまった。テレビのスイッチを入れると自動的にOSが立ち上がり、利用者が気づかないうちにインターネットに接続がなされ、テレビ番組と同様にウェブサイトを見るような時代がやってきており、パソコンは情報化時代の主流ではなくなくなったのである。そのような情報化時代は、当初環境負荷の大きい時代であった。例えばソフトウェアの仕様書を1万ページ作成するのに、開発現場では6万ページの紙が使われ、運用現場では電子ドキュメントの利用は、画面上ではなくプリントアウトされる。紙の大量消費に

2004年6月18日に学友会館ホールにおいて、黒田氏の講演が行われた。黒田氏は情報システム関連の著書も多し、第一線の経営者で、現在は中国に進出した日本企業の情報技術サポートのため1年の3分の1は中国で過ごしている。講演内容は情報産業と環境との関わりと、現場サイドから見た情報産業の実情が中心であった。また、本学の卒業生であり、現在黒田氏の会社に勤務している酒井祐治氏も講演に加わった。

講演内容は以下の通りである。

単純に植林で対応すればよいと考えがちであるが、育林のために現地の人々の飲料水を奪いかねないケースも多い。日本が期待されているのは植林活動の充実だけではなく、ペーパーレスの技術開発なのである。

現在、情報産業の現場ではプログラミングと設計の分業化が進んでおり、米国とインドの分業と同様に、日本でも海外との分業化が進むようになる。これからは国内に残る仕事を担当できる能力を備えなくてはならず、海外流出するような働き方では、海外の時給で働かなくてはならなくなる。フリーターの仕事にはそれだけの価値しか支払われず昇給の未来はない。正規社員として国内に残る仕事とは何かが問われているのである。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。このような教育環境の整備は、建築学科の夢であった。入試面接において、「CADを勉強したい」と希望する学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

■学内見学一覧

オープンキャンパス以外にも本学は随時見学を受け入れています。4月以降の学内見学は下表の通りです。

NO	月日	対象	高校名	参加者
1	4月23日	3年	栃木県立佐野松陽高校	40
2	5月15日	中学校1年	日本工業大学付属中学校	180
3	5月27日	1年	付属東京工業高校	140
4	5月28日	3年	浦和工業高校	37
5	5月29日	3年	栃木県立足利工業高校	15
6	6月4日	3年	群馬県立桐生工業高校	75
7	6月9日	保護者	埼玉県立栗橋高校	24
8	6月11日	3年・保護者	埼玉県立春日部工業高校	67
9	6月12日	3年・保護者	安田学園高校	21
10	6月14日	1年・保護者	付属東京工業高校	90
11	6月18日	3年・保護者	栃木県立那須清峰高校	30
12	6月18日	3年	群馬県立藤岡工業高校	45
13	6月21日	1年・保護者	付属東京工業高校	60
14	6月22日	1年・保護者	付属東京工業高校	150
15	7月8日	1年	群馬県立館林商工高校	40
16	7月9日	保護者	埼玉県立行田工業高校	25
合計				1,039

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

今年初のオープンキャンパスは盛況

7月17日(土)今年最初のオープンキャンパスが開催されました。多数の高校生や保護者の方々のご参加をいただき、数々の催しも好評でした。次回は8月21日(土)開催。より多くの皆様の参加を期待しています。

オープンキャンパス

8月21日(土)・10月23日(土)
いずれも11時から

SLの運転、模擬授業、施設・研究室見学
など、楽しい催しを沢山用意しています。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

組めるようにする。スタジオメントスタディールームには、マルチスクリーンを用意し、演習や作品講評の環境を整える。将来的には、建築家が海外から本学学生を語る学生が増えている。建築学科では、必修科目を設けず、学生ひとりひとりが個性的なカリキュラムを組めることを、学科の魅力としてきた。そのためにも、身近にコンピュータがあり、それを自由に使えるようにする。

ISO14001更新審査受審

5月24日・25日の2日間にわたり、更新審査を受審し、本学のEMSは有効に機能していると認められ、登録を更新(平成19年6月26日迄)された。審査所見の概要を次に述べる。

全学一丸となつての取り組みにより、第1次環境目的・目標を達成、この間、環境改善に向けた投資、研究体制の整備・推進、また、講演会、エコロジープレス等を通じた外部コミュニケーション等々の積極的な活動を行い、さらには学生の環境改善活動との連携を図り、キャンパス全体での環境マネジメント活動を確固たるものにするべく努力していることが高く評価された。

軽微な不適合、観察事項として訓練、自覚及び能力、記録に関する意識の向上、特に内部環境監査では目的とする「システムが適切に実施され、維持されているかを検証する」手順確立へむけたさらなる改善が求められた。(環境推進事務局)



黒田 聡氏

本学で先端技術研究の取り組みを 社会人大学院生 募集!

(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

*機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成17年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日 程			
	受付期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成16年9月21日~30日	10月6日	10月15日	平成17年1月28日
二次募集	平成17年2月14日~22日	2月28日	3月5日	平成17年3月11日

お問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

■日本工業大学 平成17年度入試日程

出願方式	日 程			
	出願期間	試験/面接	合格発表日	入学手続締切日
推薦入学A方式	9/27(月)~10/1(金)	/	10/16(土)	第1回目11/1(月) 第2回目1/17(月)
推薦入学B方式(第1回)	8/30(月)~9/28(火)	9/25(土)~10/2(土)の内1日	10/16(土)	第1回目11/1(月) 第2回目1/17(月)
推薦入学B方式(第2回)	11/22(月)~12/4(土)	12/11(土)	12/18(土)	第1回目12/27(月) 第2回目1/17(月)
AO入試(第1期)	10/18(月)~11/5(金)	11/13(土)・14(日)の内1日	11/20(土)	第1回目12/3(金) 第2回目1/17(月)
AO入試(第2期)	11/26(金)~12/6(月)	12/11(土)・12(日)の内1日	12/18(土)	第1回目12/27(月) 第2回目1/17(月)
AO入試(第3期)	2/21(月)~2/26(土)	3/5(土)	3/11(金)	3/18(金)
一般入試	1/7(金)~2/5(土)	2/12(土) 全学科 2/13(日) 全学科 2/14(月) 全学科 (受験日自由選択制)	2/21(月)	2/28(月)

柳澤学長 第2回懇親昼食会開催 学生代表、施設面の改善などを要望

柳澤学長と学生代表との第2回懇親昼食会が、6月22日(火)開催された。今回は学生自治会の委員長7名(詳細は別表の通り)の他に、鈴木学生部長、京野学生課長も加わり、活発な意見交換が行われた。学長は、学生の要望に真摯に耳を傾け、誠実に対応する態度を示した。以下は中央執行委員長、後藤勇輝君の報告である。

6月22日、2回目の学長の破損などについて述べた。卒業アルバム委員長の梁瀬君からは、学内の車両の通行についての意見があった。梁瀬君は入学時、学内を車両が通ることとそのスピードに驚いたという。学生が帰る時間帯に東門付近を、車両が通行することは、危険ではないかと発言した。他大学では学内に駐車して



前列左から 梁瀬君、森田君、柳澤学長、石原君、成嶋君
後列左から 鈴木学生部長、後藤君、小野君、福島君

いるのを見たことがないという意見もあった。これに対して学長からは、本学設立当初は学生も学内に駐車可能で、学生の車の方が立派で数多く駐車していたことがあったという。私からも、学生総会の際、クラブ棟に女子トイレがないが、クラブ委員長にも女子学生が増えているので是非設置をお願いしたいと発言した。学生課長もこの問題をどうにかしたいと思っていたことである。

●100周年に向け、今後も密な関係構築を
さらに、学園創立100周年に向けて大学と学生が何をすべきかなども話し合われた。100周年には是非盛大な祭を行いたいとい

■学長・学生代表昼食会出席者

学生自治会役職	氏名	所属学科・学年	出身高校
中央執行委員会委員長	後藤 勇輝	システム・4年	狭山工業
学生環境推進委員会委員長	森田 直樹	情報・3年	開智(埼玉県)
大学祭実行委員会委員長	石原 広樹	機械・4年	東京工業
卒業アルバム委員会委員長	梁瀬 達也	建築・4年	豊橋工業
学生生活上委員会委員長	小野 啓太郎	情報・4年	宮城県工業
体育会会長	成嶋 光	情報・4年	葦崎工業
中央執行委員会庶務局長	福島 和義	システム・3年	京葉工業

今後の主な学生行事

今後の主な学生行事を紹介する。是非、積極的に参加してほしい(学生課)。

8月3日(火)～4日(水) 夏祭り大会 前期試験を終えた学生に、盆踊りを踊って盛り上がりましょう、企画の一つ。宮代進修太鼓は見ごたえあり。
8月7日(土)～9日(月) 体育会フレッシュマンキャンプ
9月15日(水)～17日(金) 文化団体連合会フレッシュマンキャンプ 体団と文団に所属している1年生を対象に普段のクラブ内の活動だけでなく、他のクラブとの交流を図るための企画。今年は、体団は「赤倉山荘」、文団は「国立磐梯青年の家」で行う予定。
11月5日(金)～7日(日) 第36回若杉祭 恒例の本学大学祭。この開期中に、高校生を対象とした建築設計競技の表彰式や、卒業後10年、20年、30年のOBが集うホームカミングデーも開催される、秋の一大イベント。

中国技術学院一行が来学

台湾の中国技術学院・周文賢校長一行が、6月16日(土)に来学した。本学と同学院は昨年6月に「歴史的建造物の再利用」を研究題目とする学術交流協定を結び、国際シンポジウムの開催、日本と台湾での見学旅行などと積極的に交流してきた。今後、建築分野だけでなく情報工学分野でも交流を進め、全学的な国際学術交流となるよう、柳澤学長と協議した。わずか一日のハ



(前列左から) 柳澤学長、周校長と関係者一同

第8回スターリングテクノラリー 今年も本学を会場に11/20(土)開催



写真上は、昨年11月8日(土)に実施された同ラリーの様子。昨年は158チームが参加した。

自作のスターリングエンジンを搭載した車両で、スピードとアイデアを競う「スターリングテクノラリー」が、今年も本学を会場に行われる。本学が会場になるのは3回目。競技は、①ノーマル、②ミニ、③人間乗車(同無制限)の3クラスで所定のコースを走る。

詳しい応募規定は、スチューデントラボ・土野実験講師まで。まだまだ間に合うので積極的に参加してほしい。

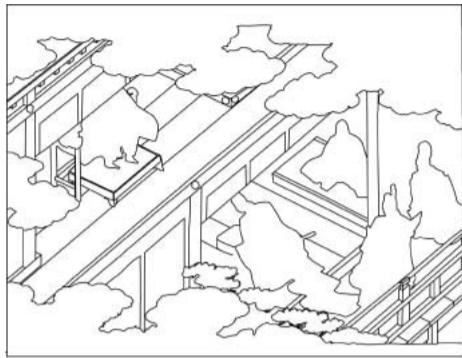
今年も事前に関東甲信越地区機械工業教育研究会主催の講習会も開催されるので、さらにレベルアップした競技が見られることを期待している。

論文「源氏物語絵」受賞 独自の視点で源氏物語絵 を読み解く赤澤真理さん



赤澤真理さん

本学大学院建築学専攻博士後期課程1年の赤澤真理さん(波多野研究室)の論文「一連の源氏物語絵を通してみた17世紀における寝殿造の理解とその変容要因——土佐派・住吉派の源氏物語画帖を中心に——」が、日本建築学会関東支部研究報告会において「若手研究優秀報告賞」を受賞した。また、関東地区の大学の建築史に関する卒業・修士論



「源氏物語画帖」桐葉帖 (赤澤さんによる模写)

文を集めた第8回建築史交流会において「建築史研究賞」を受賞している。この論文が分析対象とした源氏物語絵は、紫式部の原作が成立した平安時代ばかりでなく、江戸時代以降の時代まで、それぞれの時代の画家によって描き継がれてきたものである。そのために、絵の中に描かれた建築

物は、物語の舞台である平安時代の寝殿造とは限らず、絵が描かれた当時の上流階級の住宅が書院造、さらには数寄屋風書院へと変化して

が込められているのだ。赤澤さんの論文は、従来は無視されがちであった近世の源氏物語絵のこうした性質に着目し、そこから当時の人々の住宅観に迫った画期的な研究である。

また、この論文とは別に、赤澤さんを代表とする共同研究「物語絵を通してみた近世における上流階級の住宅観に関する研究——一連の源氏物語絵を中心に——」が、(財)住宅総合研究財団の研究助成に採択されている。これは、学習院大学や千葉大学の博士課程の大学院生といった、美術史学分野の同世代の研究者との学際的な研究であり、今後は国内ばかりでなく海外の美術館での調査も予定されている。

建築設計競技の作品募集

恒例の日本工業大学建築設計競技の今年度の募集要項が決まった。18回目となる今年の課題は「町中に建つセカンドハウス」。日常生活をおくる家とは別セカンドハウスは一般的に、森や林のなか、あるいは海

町中に建つセカンドハウス

辺といった自然環境のなかで置かれることが多いようだが、しかし、もし仮に、都市の中の自分の家からそれほど遠くないところに、セカンドハウスがあるとしたら、どんな家が考えられるか、あるいは海



今夏のアテネ・パハリニックで、B1(全責)クラスのマラソン日本代表、高橋勇市さんのガイドランナー(伴走者)に、本学建築学科4年生の神原淳一君が内定した。



神原淳一君(写真右)
建築学科4年
(岐阜県立岐南工業高校出身)

パラリンピックで マラソンの伴走

と知り合うようになったという。神原君は、当時のことを振り返って、「白岡の周回コースで走っているときに、市民ランナーの集まりで、ランニングをこよなく愛する「夜人走

年次のときロード走の練習場として、本学の近くにある白岡総合公園内の約1キロの周回コースを利用するようになり、市民ランナーとの交流が始まった。この頃、久喜市に在住していた高橋さん

友会』の人たちや高橋さんと出会い、ランナーとして大いに共感を覚え、その後、走る場所を代々木公園内にある織田フィールドに移し、毎週水曜日の夕方、仕事を終えて各地から集まって

い一方で、昨年の秋学期を休学。その期間ランニングに専念し、今春3月に行われた立川ハーフマラソンに出場。本人は「記録的には不満」というものの、見事念願であった東京国際マラソンへ

くる「アトミクラブ」の人たちと一緒に走るようになった。その中には、都内に移住した高橋さんというランナーがいた。高橋さんはいままでか、私より速いランナーがいるの

の出場資格を獲得した。高橋さんのガイドランナーに選ばれたことについては、神原君は「いままでか、私より速いランナーがいるの

神原君は、高橋さんらとともに8月上旬に高橋さんの実家近くの田沢湖で合宿の予定。9月11日、アテネに向けて成田を出発し、9月26日の本番を迎えることになる。



日工大通信がウェブで 閲覧可能に

本紙は、今年度分からPDFファイル化し、ウェブページで見られるようになった。PDFファイルを見るにはAdobe Acrobat Readerが必要だが、是非ご利用いただきたい。URLは <http://www.nit.ac.jp/nitnp>

日本マグネシウム協会から 古閑教授に技術功労賞



古閑伸裕教授

本学機械工学科古閑伸裕教授は、このほど日本マグネシウム協会から平成15年度技術功労賞を受賞した。

同協会はわが国のマグネシウムメーカーを網羅した団体で、マグネシウムに関する各種技術開発活動や産業界への普及促進活動を展開している。今回、古閑教授が受賞した賞は、同協会の研究開発である「マグネシウム合金板のプレス加工技術の開発」に与えられたもので、今後のマグネシウム合金板のプレス加工技術の開発、発展に寄与するものと評価された。

岸教授がチェコ工大から 2度目のメダル受章 11年にわたり同大で授業



本学電気電子工学科岸教授は、このほどチェコ工大(プラハ)交通工学部から表彰状と記念メダルを受与された。同賞は1800年代にチェコとオーストリアのリンツの間に

岸教授は02年に同大工学部から電磁気学の著名な学者であるトルンカ教授を記念するトルンカメダルと賞状を受章しており、今回は2度目の受章である。岸教授は東芝研究所の出身で、戦後日本の工業発展

専門職大学院開設準備室長 村川正夫教授が語る 専門職大学院技術経営研究科(文科省認可)の特色



村川正夫教授

そのために、専任教員陣のほとんどに現役の実務家を予定しており、中小企業の経営者、ベンチャー企業を立ち上げた経験者、国際的な研究機関で30年近く豊かな実務経験を積んだ研究者などの招聘を考えています。

学園創立百周年事業の一環として2005年度開設予定(文科省認可申請中)の専門職大学院について、開設準備室長・村川正夫教授に、授業内容などの特色・ねらいなどについてお聞きした。

中堅・中小企業に役立つケーススタディを重視
開設予定の専門職大学院では、特に中堅・中小企業の実情に即して、マネジメント能力を高める教育を行うことが特色で、最新の技術の理解のみならず、技術系経営者や技術者に不足しがちな、経営の基礎と実践的知識・センスの獲得を、実務経験豊富な教授陣を通じて

の研究成果である「マグネシウム合金板のプレス加工技術の開発」に与えられたもので、今後のマグネシウム合金板のプレス加工技術の開発、発展に寄与するものと評価された。

品質工学会は、独自の品質管理で世界的に有名な田口玄一氏の実践理論を研究・実践するため産業界を中心に約3千人が参加して

両瀬弘志君が電子回路の自動設計に成功
優秀論文賞
本学システム工学科両瀬弘志君は、このほど品質工学会から貢献賞を受賞した。



両瀬弘志君

本年3月大学院電気工学専攻博士前期課程修了の両瀬弘志君(神野研究室所属・富山工業高校出身)が、回路を自動合成するという



正道寺勉助教授

寺勉助教授はこのほど品質工学会から貢献賞を受賞した。

総会報告と地域別教育懇談会日程

後援会だより
去る5月23日(日)午後1時より、大学学生会館ホールにて平成16年度後援会定期総会が開催された。

吉岡勝元教授「遺族からの寄付」

開学してから3年目である昭和45年4月より昭和59年3月までの14年間、本学の英語担当として指導いただいた吉岡勝元教授は、去る4月16日、90歳でお亡くなりになった。そのご遺族より、6月22日、本学の育英事業に対して50万円の寄付の申し出があり、当日理事長がお受けした。

■平成16年度 地域別教育懇談会開催日程 (予定)

開催日	主催	開催都市	開催会場	対象地域
9/4 (土)	蔵王支部	山形市	オーソマホテル	山形県・宮城県
9/5 (日)	秋田支部	秋田市	協働大町ビル	秋田県
	栃木支部	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県
	茨城支部	下館市	つたやホテル	茨城県
	群馬支部	前橋市	マキユリーホテル	群馬県
	千葉支部	千葉市	千葉市蘇我勤労市民プラザ	千葉県
9/11 (土)	福島支部	郡山市	清稜山倶楽部	福島県
9/12 (日)	青森支部	青森市	青森グランドホテル	青森県
	新潟支部	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県
	長野支部	佐久市	佐久平プラザ21	長野県
	近畿支部	尼崎市	尼崎市立小田地区会館	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
	東中国支部	津山市	津山国際ホテル	岡山県・鳥取県・西宮
9/18 (土)	北陸支部	富山市	富山電気ビルレストラン	富山県・石川県・福井県
9/19 (日)	東海支部	名古屋	名古屋市民会館第2会議室	愛知県・岐阜県・三重県
	西中国支部	未定		広島県・山口県・島根県
	沖縄支部	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県
9/20 (月・祝)	本部(九州)	福岡市	博多グリーンホテル	九州
	岩手支部	盛岡市	サザンパレスフォルテ	岩手県
	本部(四国)	高知市	高知国際ホテル	四国
9/26 (日)	山梨支部	春日居町	ホテル春日居	山梨県
	静岡支部	静岡市	県男女共同参画センター	静岡県
	本部(北海道)	札幌市	ホテルサンルート札幌	北海道
10/3 (日)	本部(近畿)	大学	大学	東京都・埼玉県・神奈川

※開催日及び会場は都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部(支部のない地域は本部)より各会員宅に郵送されますのでそちらをご覧ください。

第5回ホームカミングデー 開催のお知らせ

第5回ホームカミングデーが大学祭2日目の11月6日(土)に開催されます。卒業後10年・20年・30年の方には学内一、パーティも予定しています。是非ともご参加ください。



●昨年のホームカミングデーの様子

杉戸町教育委員会主催 スポーツフェアでSL運行

去る5月30日(日)杉戸町近隣公園に於いて、杉戸町教育委員会主催の「第18回レクリエーションスポーツフェア」が開催された。この催しでは、毎年本学の「ミニSLの運転」が好評で、当日は猛暑の中、1700人以上の人たちが列を作った。



●スポーツフェアでミニSLに乗ってゴキゲンの乗客

献血について

6月17日、体育館前にて赤十字血液センターによる献血が実施された。今回より献血者の献血履歴等が照会できる新システムが導入されるようになった。尚、今回は教職員、学生合わせて293名が協力をした。

生涯学習センター主催のコンサート

9月13日から申込み受付
生涯学習センター主催のNHK交響楽団メンバーによる「弦楽四重奏」コンサートが、本学学生会館で10月8日(金)19時より開催される。申込み受付は9月13日(月)9時から。申込み先は生涯学習センター・電話(0480)344-111(代)料金は大人500円、大学生以下は200円、定員300名先着順。

編集後記

平成19年(2007年)は、学園創立100周年(大学創立40年)という節目の年となる。これに向けて記念事業を計画・実施していくことになり。思えば、明治40年に認可され、翌年2月に開校した東京工科大学が、即戦力となる工業技術者を生きた工業教育によって育成することを教育方針とし、日本の工業教育の先駆けとして、スタートしたのが最初であった。以来、工業教育の理想を追求してきた我が学園が、これからの100年に向け教育理念の再構築を図り、さらなる教育の充実を目指すとともに、新たな学校を神田の地に設置させていくことを社会へ宣言していくことになる。関係各位の絶大な応援をお願いしたい。(F)

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。